

新雅史 (あらたまさぶみ)

一九七三年福岡生まれ。学習院大学非常勤講師。東京大学人文社会系研究科博士課程(社会学)単位取得退学。主著に「両大戦間期における商店街理念の生成」『ソシオロギス』(三五号)、「コンビニをめぐる(個性化)と(均質化)の論理」『ネットメディアと(コミュニティ)形成』(東京電機大学出版局)、「災害ボランティア活動の『成熟』とは何か」『大震災後の社会学』(遠藤薫編著、講談社現代新書)。本書が初の単著となる。



9784334036850



1920234007400

ISBN978-4-334-03685-0

C0234 ¥740E

定価(本体740円+税)

商店街はなぜ滅びるのか 新雅史

# 商店街はなぜ滅びるのか

社会・政治・経済史から探る再生の道



光文社新書 582

新雅史

光文社新書 582

商店街はまったく伝統的な存在ではない。現存する多くの商店街は二〇世紀になって人為的に創られたものだからである。(本文より)

——極めて近代的な存在である商店街は、どういう理由で廃明され、そして繁栄し、衰退したのか？ よく言われるように、郊外型ショッピングモールの乱立だけが、商店街衰退の原因なのか？ さらに、地域コミュニティの要となる商店街の再生には、どういった政策が必要なのか？ 膨大な資料をもとに解き明かす、気鋭の社会学者による画期的な論考！ 上野千鶴子氏推薦！！

「歴史をさかのぼることで商店街の特質と問題の構造を明らかにした本書の意義は大きい。」(朝日新聞) 未来を見据える画期的な一冊だ。」(2012年6月24日読者欄より)

大反響！  
続々  
重版！！

——中島岳志氏絶賛！

虚を衝かれた。古いはずの商店街は実は新しかった。

そして滅びるにはそれだけの理由がある？ 再生のための必読の書。

——上野千鶴子氏推薦！